

まちづくり座談会

7月10日から8月29日にかけて、各地区コミュニティセンターで開催されたまちづくり座談会。今年度は、合計271人の方にご参加をいただきました。まちづくりに関する大切なご意見ありがとうございました。皆さんからいただいた質問・ご意見について主なものをお知らせします。

Q. 新しい橋が完成した後、現在の橋はどうなるのか。

A. 平成32年の新荒砥橋の供用開始を受けて、平成33年度から平成35年度までの3カ年の間に撤去する予定になっています。

■教育関係について

Q. 小中学校の統合から2年が経過したが、実態としてはどのような感じか。

A. 子どもたちの様子を見ると、表情も明るく非常に立派で、統合から3年目とは思えないくらい順調に学校生活を送っています。ただし、白鷹中学校については、不登校等の生徒の数が昨年は少し多かったように感じます。この件については町校長会でも大きな課題として取り上げ、対象生徒については小学校時代までさかのぼって調査し、指導していこうと努めています。

■スクールバスの運行について

Q. 子どもの数が減り、バス停までの道のりを一人で歩き来している子もいる。停留所の位置を変えることはできないか。

A. 年度ごとに児童・生徒の状況は変化するため、その都度学校や保護者の方の意見をお聞きしながら安全な運行体制を整えていきたいと考えています。

なお、最近では、クマ出没の影響で徒歩通学班が危ないという話をいただき、一部地域については一時期スクールバスに乗って通学していただいた経過もあります。

今後も状況に応じた対応をさせていただきますと考えていますので、バス停の位置も含め、ご要望があれば教育委員会にご連絡ください。

■緊急情報の伝達について

Q. 外で流れる放送の内容があまり聞き取れない。緊急用のラジオの配布も検討してほしい。

A. 緊急情報の伝達については、

■荒砥橋の架替について

Q. 町の負担は全く発生しないのか。

A. 荒砥橋の架替については、県による荒砥橋工区の工事になっています。これは県の単独事業ではなく、補助等を活用した事業になっているので、町の負担は発生しないということになっています。

ただし、工事に関連して町が県の道を占用している施設（上下水道管など）を移設する場合は、町の負担となります。



より活発な意見交換の場となるよう、テーマごとにグループで意見討論をし、発言していただく形式で実施した荒砥地区→